

デジタルアーツのCSR

情報リテラシー出張授業

全国の学校や地域に訪問し、スマートフォンやインターネットのルール＆マナー、さまざまな危険を知っていただくための活動を行っております。ご家族みんなでインターネットにひそむ危険や対処方法、ご家庭でのスマートフォン利活用のルール作りなどを学んでいただける機会を提供いたします。

<https://www.daj.jp/csr/enlightenment/>



調査活動

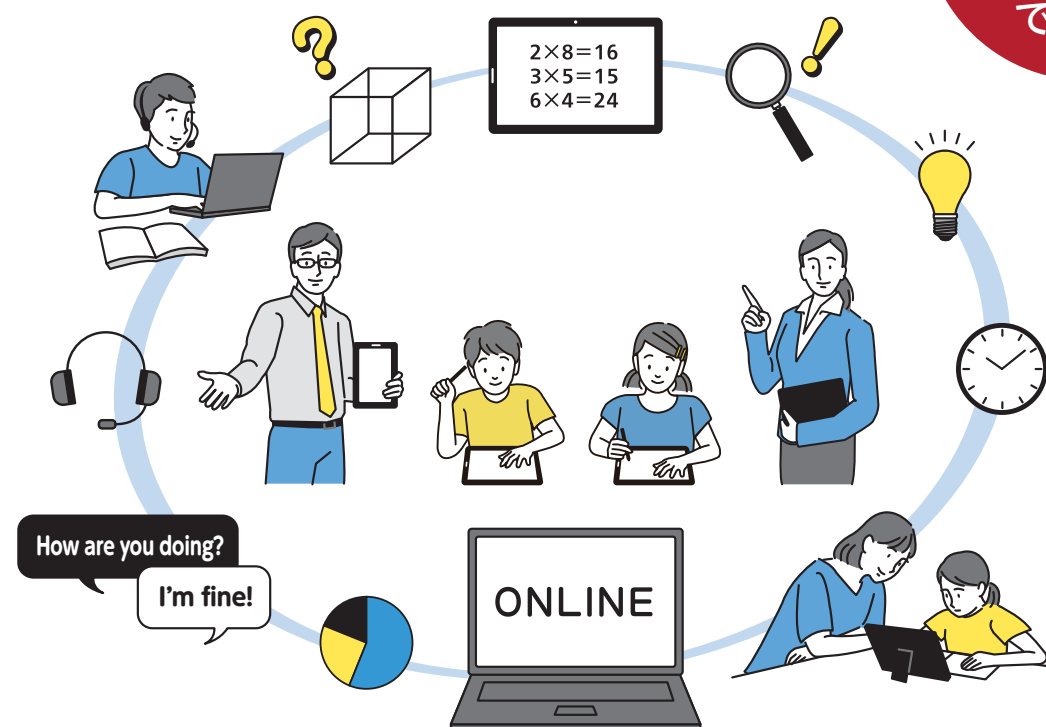
未成年者のスマートフォンの所有率やフィルタリングの利用率といった定点観測のほか、インターネット上のコミュニケーションに関する課題についていち早く調査を行い、世の中に問題提起しています。



GIGAスクール構想 セキュリティソリューション

フィルタリング
対策済みの
教育委員会のうち

53%
で採用※



■本書は2025年3月現在の情報を基に作成されています。最新の情報は弊社Webサイトをご参照ください。■本書に記載されている製品の各種ライセンス定義及びライセンス別の価格については、各製品の価格表をご参照ください。■本書に掲載されている画面および画面設定例は、解説のためのイメージ図であり、実際の画面とは異なる場合がございます。■本書に記載の内容は変更される場合があります。予めご了承ください。

デジタルアーツ株式会社

www.daj.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエスタワー14F
Tel 03-5220-1110 Fax 03-5220-1130

製品に関するお問い合わせ

Tel 03-5220-3090 【受付時間】平日9:00～18:00（土、日、祝日、弊社指定休業日を除く）

E-Mail sales-info@daj.co.jp URL www.daj.jp

デジタルアーツ株式会社の製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等

登録商標または商標は右記弊社Webサイトに記載しております。 <https://www.daj.jp/sitepolicy/>



お問い合わせ先

2025/03 DD-11121-015

i-FILTER® Ver.10
GIGAスクール版

i-FILTER®@Cloud
GIGAスクール版

i-FILTER® for ID-SPA® Ver.4
GIGAスクール版

※フィルタリング対策済みの教育委員会関係者へのヒアリング結果(2024年9月末 当社調べ)

安心・安全な「GIGAスクール構想」実現のために。

次世代の自由な学び、ICT教育を安心・安全に実現するために制定された教育セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和6年1月版）[※]に対し、デジタルアーツの学校向けセキュリティソリューションが支援します。

[※]https://www.mext.go.jp/content/20240202-mxt_jogai01-100003157_1.pdf

教育セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和6年1月版） セキュリティ対策の基本的な考え方は7つ



GIGAスクール構想第2期では Webフィルタリングと端末の稼働状況把握が必須！

文部科学省による学習用端末の更新における補助金交付要綱（令和6年1月）では、1台あたり55,000円の補助額が提示され、**補助金交付の条件のなかにはWebフィルタリング機能や端末の稼働状況を把握できる機能を備えることが含まれております。**

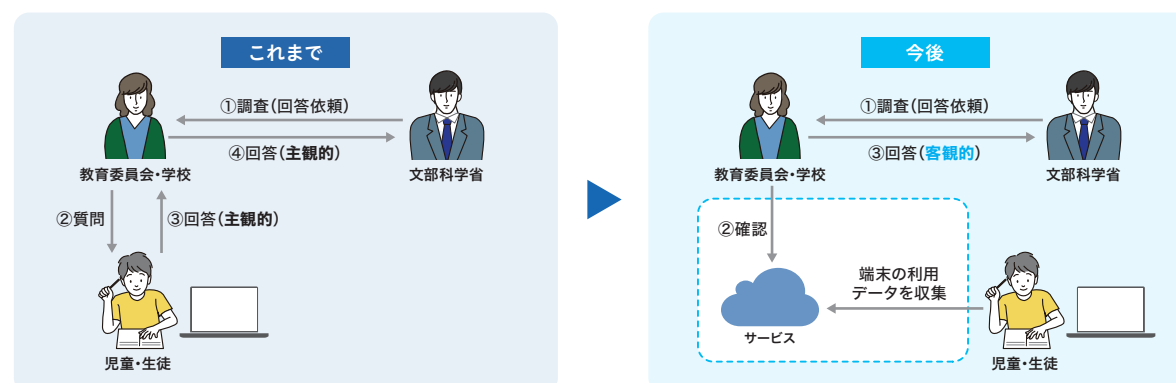
[※]https://www.mext.go.jp/content/20240201-mxt_shuukyo01-000033777_02.pdf

◎どんなフィルタリングを選べばよいの？

要綱記載の「違法・有害情報との接触を防ぎ、安心・安全なインターネット利用を補助する」という目的が達成できる**高い精度かつ柔軟な設定が可能なフィルタリング製品を選ぶことが重要**

◎端末の稼働状況とは？ 何に使うの？

「**端末の利活用状況を客観的に把握**」する機能のこと（MDM/フィルタリング/クラウドアカウント/日常利用のサービスにて実現）
⇒ 文部科学省による端末の利活用状況の調査においても、**今後は客観的データに基づく回答を求める**



「i-FILTER」なら、これらの課題を解決するセキュリティ対策が可能です。

i-FILTER[®]

- 学習に関係ないサイト・有害サイトへのアクセスをブロック
- 動画を活用した授業の推進および制御
- いじめ・自殺の予防・早期発見
- インターネット利用状況の可視化・分析
- 「ホワイト運用」による標的型攻撃対策

「i-FILTER」の付随サービス



▶ 詳細はP.12へ



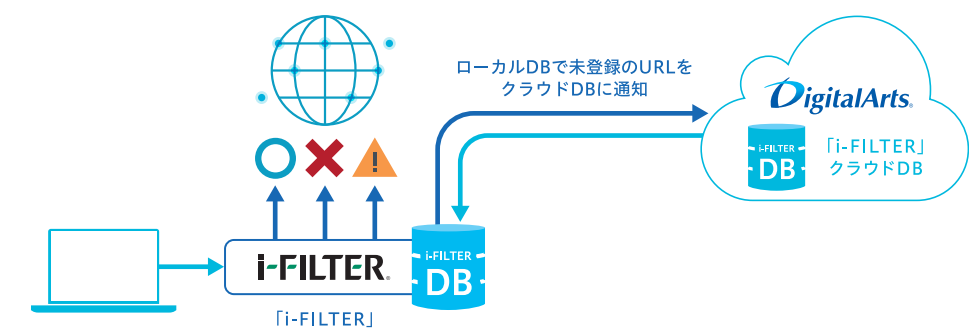
▶ 詳細はP.13へ



▶ 詳細はP.14へ

[※]特許取得済み（特許6716051号） / 改ざんの検知で特許を取得

「ホワイト運用」とは？ 既知の悪性Webサイトはもちろん、DBに無い生まれたばかりのURLもデジタルアーツが安全性を確認するため、安全なWebサイトにのみアクセスが可能です。



教育現場における様々な課題

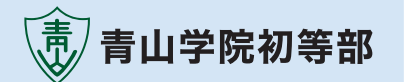
i-FILTER[®] なら!

学習と
関係の無いサイトを
閲覧するのは?

カテゴリごとに詳細に分類し、
児童が学習に必要なコンテンツだけにアクセス可能!
カテゴリフィルタリング・Webサービス制御 ▶ P.05

お客様の声：青山学院初等部さま

時間やグループごとに細かくフィルタリング環境を設定できるのが
「i-FILTER@Cloud」のメリット!



インターネットを
使いすぎるのでは?

特定の時間帯にインターネット利用を
禁止することが可能!
時間割機能 ▶ P.06

お客様の声：河内長野市教育委員会さま

インターネットの利用時間を制御できることは、端末の利用時間自体を制御できる
ことになり、学校現場の負担を抑えられると考えました。



端末の利活用状況が
わからない...

管理画面上で利用状況を視覚的に把握でき、
様々な条件を設定して詳細検索も可能!
利用状況可視化機能 ▶ P.10

お客様の声：下仁田町教育委員会さま

危険なサイトにアクセスしていないか、授業中に関係のないページを見ていないか、
長時間利用をしていないかなど、生徒の利用状況を現場の教員が把握し、不適切な
使い方をしている生徒に対しては、“声をかけてみよう”と見守ることができる。



持ち帰り端末による
いじめが心配...

児童・生徒が自殺関連サイトへのアクセスを試みた際、
ブロックするとともに管理者へメール通知可能!
見守りフィルター・POSTフィルター ▶ P.11-12

お客様の声：摂津市教育委員会さま

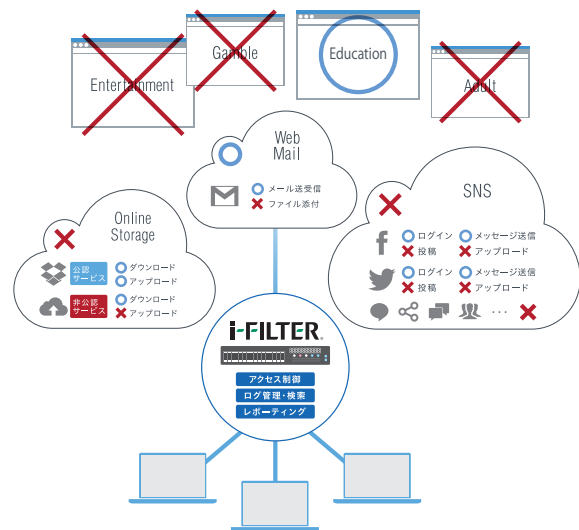
「i-FILTER@Cloud」は子どもたちが問題のあるサイトへアクセスしたり、インシデントが
発生した場合であっても、リアルタイムで連絡メールが来る!



「GIGAスクール構想」を強力にバックアップする 多彩な機能

児童・生徒が端末を利用する際に、
不適切なWebページの閲覧を防止したい

カテゴリごとに詳細に分類し、児童が学習に
必要なコンテンツだけにアクセス可能



URLフィルター ● コンテンツフィルター				
カテゴリ名	有効	アクション	POSTフィルター	
脅威情報		ブロック	0バイト	
改ざんサイト		ブロック	0バイト	
ポルノ・アダルトサイト		ブロック	0バイト	
ヌード・アダルトグッズ		ブロック	0バイト	
グラビア・写真集		ブロック	0バイト	
性教育・性の話題		ブロック	0バイト	
暴力・暴力描写		ブロック	0バイト	
犯罪・暴力		ブロック	0バイト	
麻薬・薬品薬物		ブロック	0バイト	
カルト・テロリズム		ブロック	0バイト	
自殺・暴行		ブロック	0バイト	
盗出		ブロック	0バイト	
ハッキング・クラッキング		ブロック	0バイト	
不正プログラム配布・リンク集		ブロック	0バイト	
違法ソフト・反社会行為		ブロック	0バイト	
フィッシング詐欺		ブロック	0バイト	
クラッシュサイト		ブロック	0バイト	

不適切なWebページの閲覧を防止する一方で、児童・生徒の
学びの機会を奪わないために柔軟に制御をしたい

豊富なWebサービスへのアクセスを
きめ細かく制御可能

サービス名	認証	有効	機能名	アクション	許可カテゴリ名	リスク
YouTube (Google)	ON	ON	YouTube 閲覧	ブロック	動画配信/アップローダー/検索エンジン/Web翻訳・URL変換/音楽	1
			YouTube 一般動画閲覧	ブロック	動画配信/アップローダー/音楽	2
			文部科学省公式チャンネル 閲覧	許可	動画配信/アップローダー	2
			官公庁/自治体公式チャンネル (文部科学省除く) 閲覧	許可	動画配信/アップローダー	2
			独立行政法人公式チャンネル 閲覧	許可	動画配信/アップローダー	2
			Tokyo 2020公式チャンネル 閲覧	許可	動画配信/アップローダー	2
			YouTube コメント投稿	ブロック	動画配信/アップローダー	3
			YouTube 動画アップロード	ブロック	動画配信/アップローダー	3
			YouTube サムネイル表示	ブロック	動画配信	2
			YouTube チャンネルページ閲覧	ブロック	動画配信/アップローダー	2

カテゴリ
フィルタリング

Webサービス
制御

特許取得済み
特許番号5575341

学習に必要な
動画のみ閲覧させたい

YouTubeの「動画ID」や「チャンネルID」、「ハンドル名」ごとに
個別で閲覧可否を設定可能
教育現場のニーズに合わせた柔軟な動画制御を実現

YouTubeチャンネルID禁止リスト: 登録件数 1/100件

インポート エクスポート 動画IDエクスポート

設定一覧

Display【ハンドル名】【動画家(0)】

削除

YouTubeチャンネルID

タイプ: ハンドル名 / アクション: ブロック

メール通知: しない

教育委員会YouTubeチャンネルの活用を支援!

- 自組織のGoogleアカウントのチャンネルに関しては限定公開動画のIDも取得・制御可能!
- 「教育委員会が作成した教育系動画を域内の学校のみに関連させる」といった運用を実現!

児童・生徒が深夜までインターネット利用を
することによる健康問題を防止したい

特定の時間帯にインターネット利用を禁止することが可能
授業時だけでなく、持ち帰り学習の際の安全なWeb利用に寄与

Point 1

曜日/時間帯/任意の日付ごとにポリシーを変更可能
放課後や深夜帯、長期休暇の利用を細かに制限することで使い過ぎも防止

フィルタプリセット選択: [個別のフィルター強度]

Webサービスプリセット選択: [個別のWebサービスフィルター強度]

時間帯プリセット選択: [個別の時間帯設定]

利用時間制限

利用可能時間: 100分 / アクション: ブロック

時間帯設定: 登録件数 2/20件

モード	スケジュール	時刻	使用するルールプリセット
1 曜日	日 月 火 水 木 金 土 祝	00時00分~24時00分	<<標準のルール>>
2 日時	長期休暇		長期休暇

平日: 8時~22時まで
休日: 制限無し など

Point 2

時間帯プリセット利用で
毎回の設定負担を軽減

ルールセット / 基本プリセット / 時間帯プリセット

ログインユーザー: admin ログアウト

設定名: 深夜利用OFF

参照ロック 編集ロック 保存

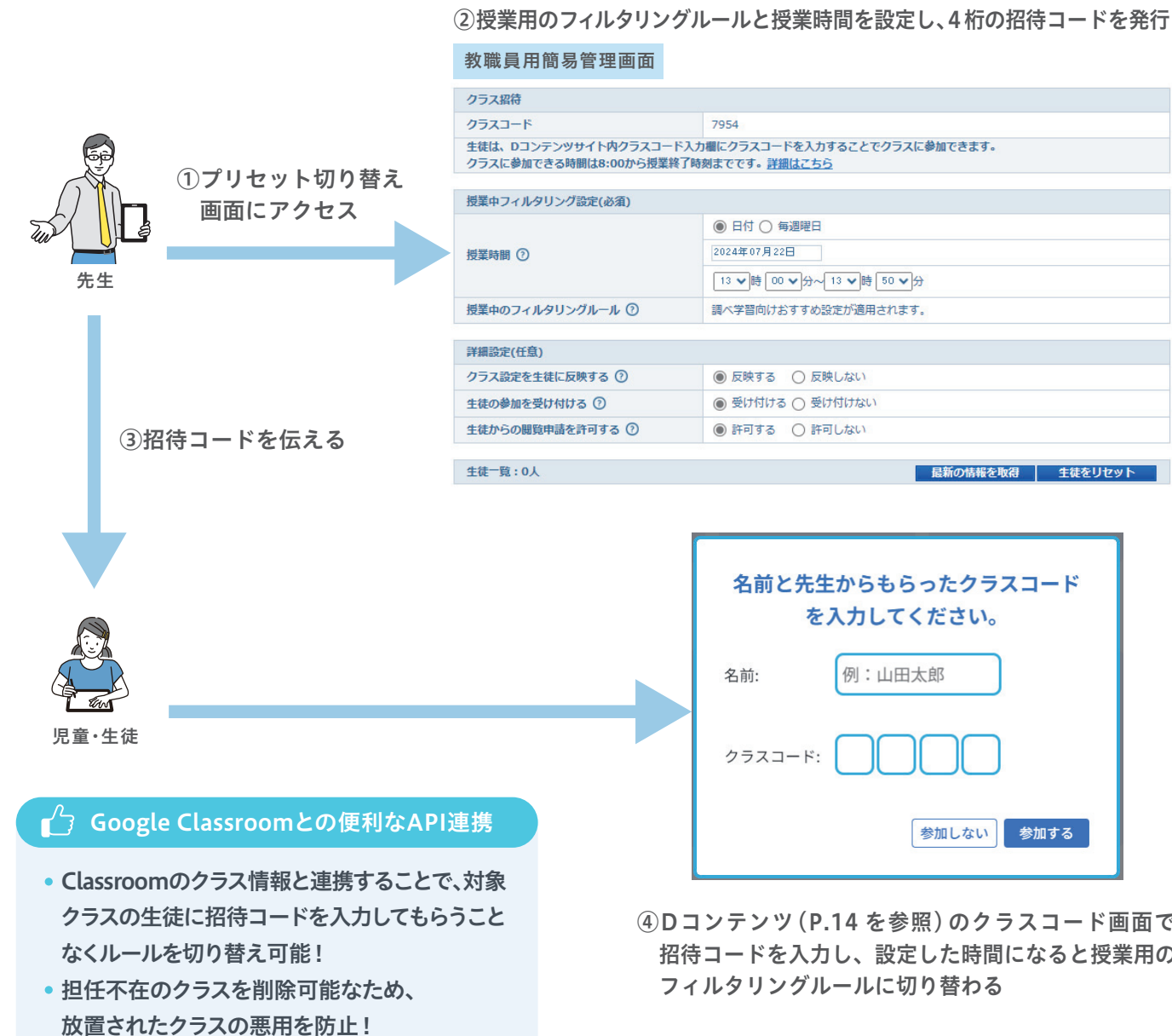
時間帯設定: 登録件数 1/20件

モード	スケジュール	時刻	使用するルールプリセット
1 曜日	日 月 火 水 木 金 土 祝	00時00分~05時00分	インターネットOFF

特定の授業時にフィルタリングルールを簡単に切り替えたい

特定の授業を行う際に一時的にフィルタリング強度を変えることが可能
招待コードにより授業クラス単位でルールを適用可能

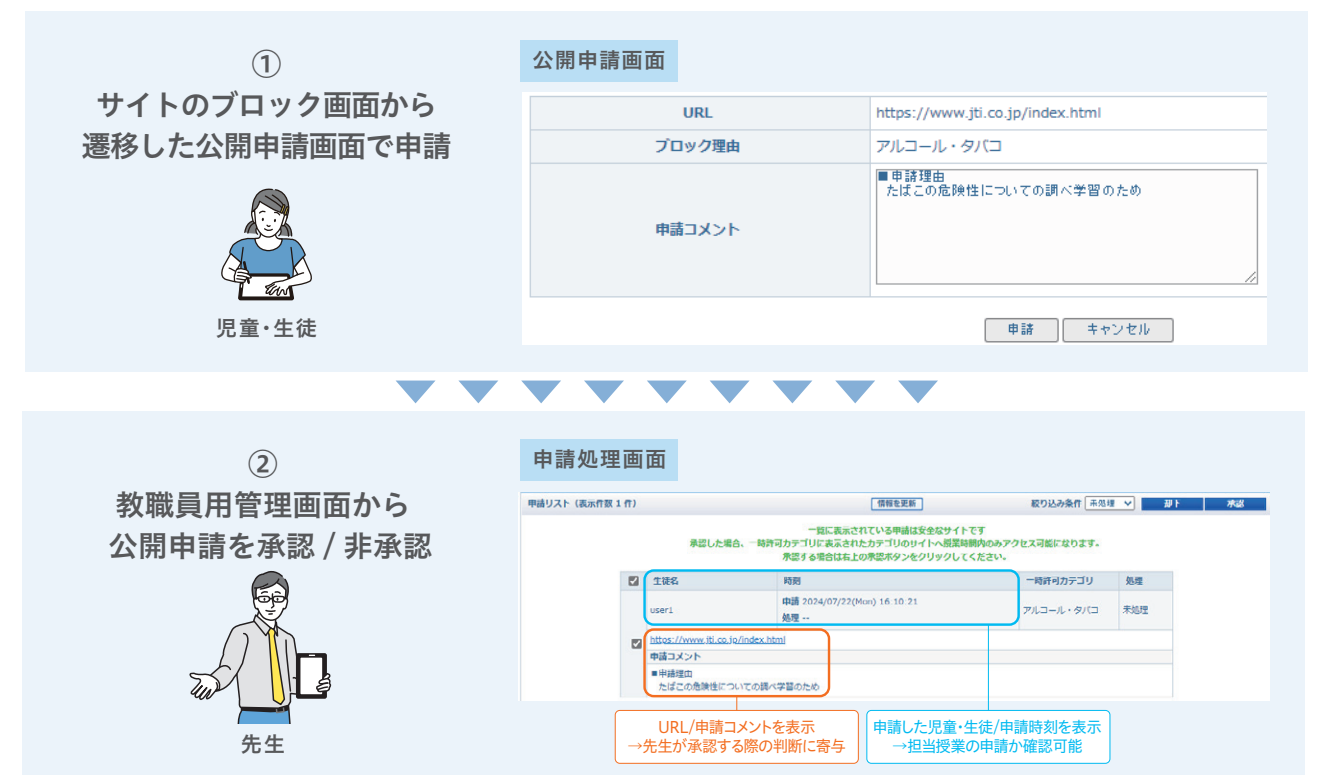
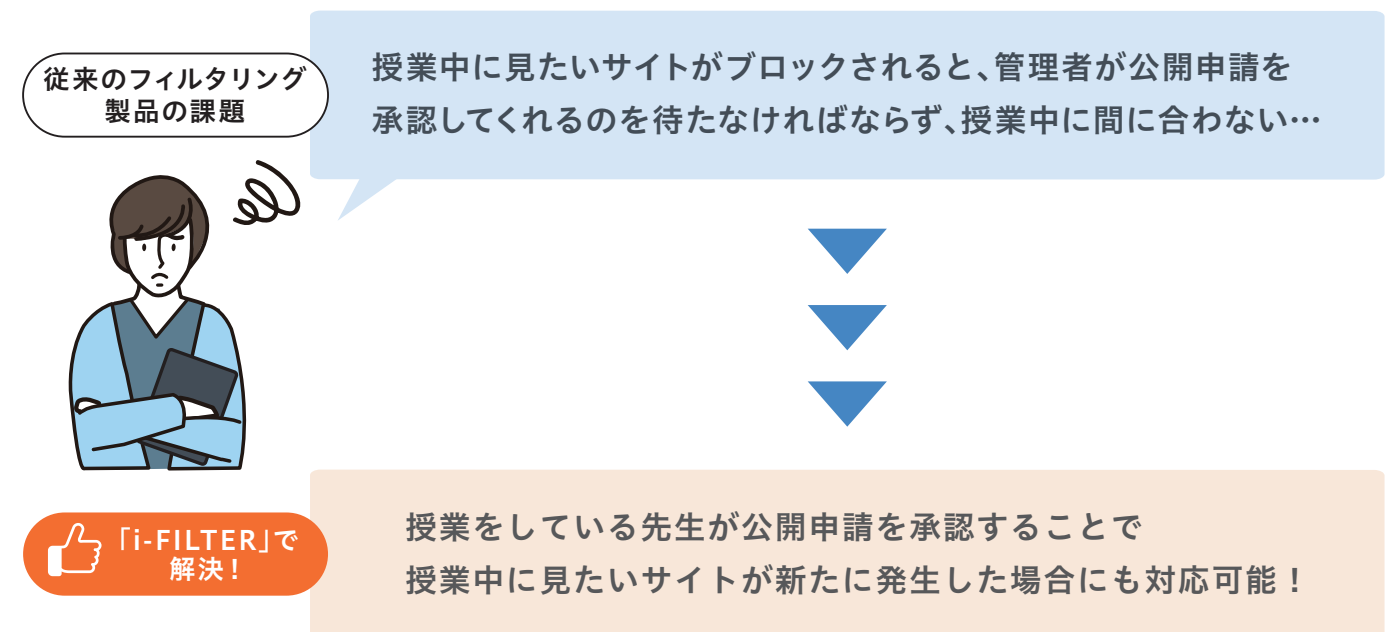
授業用フィルター 切り替え機能



授業中、一時的に特定のサイトを閲覧許可したい

アクセスしたいサイトがブロックされた場合、
生徒から先生に閲覧申請が可能

公開申請 機能



※申請を承認するとそのサイトを含むカテゴリ自体が閲覧可能になります。

管理者の運用負担を抑えながら、授業を担当する先生ごとに
柔軟なフィルタリングの切り替えが可能！

Google Classroomとの便利なAPI連携

- Classroomのクラス情報と連携することで、対象クラスの生徒に招待コードを入力してもらうことなくルールを切り替え可能！
- 担任不在のクラスを削除可能なため、放置されたクラスの悪用を防止！

児童・生徒の生成AI利用を 確認・管理したい

生成AIの利用状況や入力内容のグラフやログ確認可能※
利用する生成AIの限定や入力内容の制御も可能

※「i-FILTER GIGAスクール版」では「AIチャットログ」、「i-FILTER@Cloud GIGAスクール版」では可視化のグラフをご提供します

- 生成AIにどのようなメッセージを送信したかログから確認・分析することが可能

(画像は「i-FILTER GIGAスクール版」の画面イメージです)

No.	クライアント	グループ	時間	サービス	処理	検出単語
1	192.168.241.220 user1	A学校	2024/03/12 02:06:36	OpenAI (ChatGPT)		
送信メッセージ 以下は私が書いた悪作文です。スペルや文法ミスがないか載せてください。 My father get on 7 a.m. every day.						
2	192.168.241.234 user2	B学校	2024/03/12 02:06:22	OpenAI (ChatGPT)	ブロック	悪作文
送信メッセージ 「坊ちゃん」の読書感想文を400字で書いてください。						

投稿したユーザー・グループ・時間を確認可能/
送信メッセージ内の検出単語をハイライト表示可能

利用した生成AIを
確認可能

投稿時のアクションと
検出単語を表示可能

- 生成AIカテゴリとWebサービス制御を
組み合わせることにより、生成AI自体
の許可/ブロックだけではなく生成AI
のツールごとに「投稿は許可し、ファイル
アップロードはブロック」など柔軟な設
定が可能

サービス名	認証	有効	機能名	アクション	許可カテゴリ名	リスク
OpenAI (ChatGPT)		ON	OpenAI ChatGPT (生成AI)	許可	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			OpenAI ログイン	許可	なし	2
			ChatGPT 未登録利用 (生成AI)	ブロック	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			ChatGPT ファイルアップロード	ブロック	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	4
Microsoft Copilot		ON	Microsoft Copilot (生成AI)	許可	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			Microsoft Copilot ファイルアップロード	許可	画像・動画検索エンジン/ビジネス向けWebアプリケーション/検索エンジン/生成AIサービス	4
Gemini (Google Bard)		ON	Gemini (生成AI)	許可	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			Gemini ファイルアップロード	ブロック	ビジネス向けWebアプリケーション	4

- 特定の単語を含む入力をブロック。
文教向け禁止単語テンプレートに
より、運用負荷も軽減



生成AIの 可視化・制御

端末の利用状況を把握・分析したい

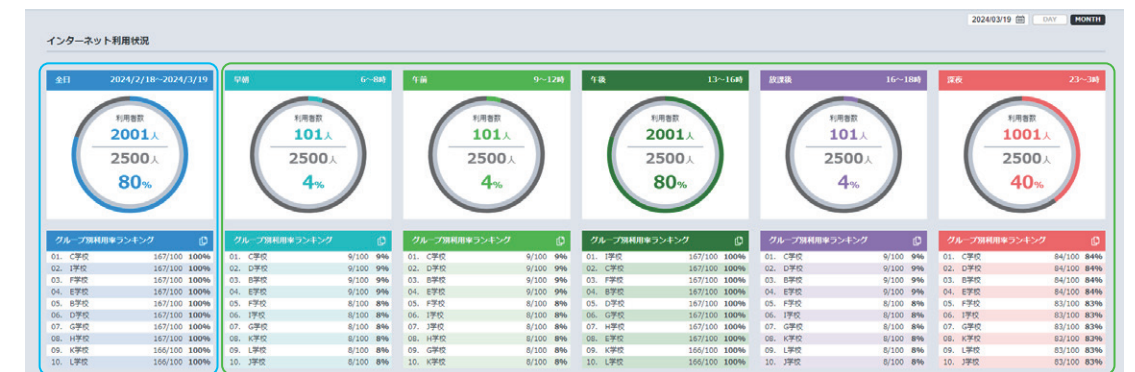
総合的なインターネット利用率や、放課後・深夜帯の
利用が多いユーザー、学校などをグラフィカルに表示※2

利用状況 可視化

文部科学省
ガイドライン
対応※1

全体 利用状況

「i-FILTER@Cloud」所属の全グループ(学校)ごとの端末の利用時間、時間帯ごとの利用状況を表示
端末の稼働状況や持ち帰り学習の実施有無、深夜帯の端末利用の有無を可視化

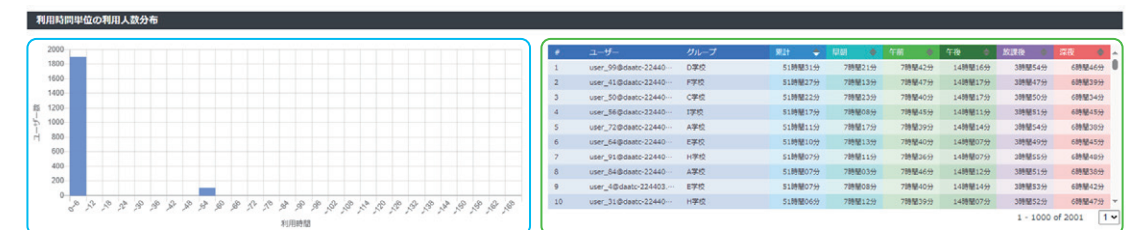


インターネット利用者数/利用率/
グループ別ランキング

早朝/AM/PM/学校外/深夜の時間帯ごとの
インターネット利用者数/利用率/グループ別ランキング

グループ別 詳細画面

特定のグループ(学校)の全体のインターネット利用状況やグループ内のユーザーの端末の利用時間等を
グラフィカルに可視化



累計利用時間ごとのユーザー数分布

ユーザーごとのインターネット利用時間

ユーザー別 詳細画面

特定のグループ(学校)の特定のユーザーのインターネット利用状況や、グループ内のユーザーの端末の
利用時間等をグラフィカルに可視化



Webサービスごとの累計利用時間

サービスごとの利用時間/特定のサービスの利用状況推移

【参考】令和5年7月4日発表の文部科学省による「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」においても「子供の発達段階や実態を踏まえ、年齢制限・保護者同意等の利用規約の遵守を前提に、教育活動や学習評価の目的を達成する上で、生成AIの利用が効果的かどうかで判断すること基本とする(特に小学校段階の児童に利用させることには慎重な対応を取る必要がある)」と記載があります。 https://www.mext.go.jp/content/20230718-mtx_syoto02-000031167_011.pdf

※1: https://www.mext.go.jp/content/20240417-mxt_jogai02-000033777_3.pdf ※2: 「i-FILTER@Cloud GIGAスクール版」のみ搭載の機能です

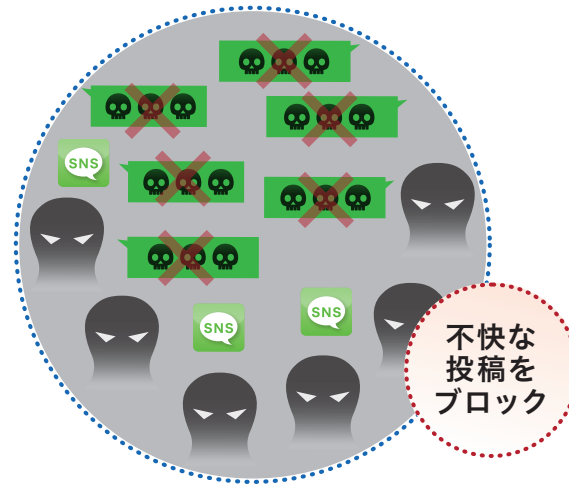
いじめと判断される過激な発言や
いじめの原因となる投稿自体を禁止したい

チャットや掲示板へのファイルのアップロードや
特定の単語を含む投稿のブロックが可能

※教職員による内部情報漏えい対策としても有効です

指定バイト数を設定することで、オンラインストレージや
掲示板へのファイルのアップロードや投稿をブロック
することが可能です。主に児童・生徒の掲示板や
SNSサイトへの書き込みや、端末搭載のカメラで撮影
した写真のアップロードなどをPOSTフィルター
によってブロックすることが可能です。これによって
いじめ発言やいじめの原因となる投稿をブロック
することができます。

POST
フィルター



さらに充実した、無償提供のオプション機能

学習端末が原因の
児童・生徒のいじめや自殺を防止したい

児童・生徒が自殺関連サイトへのアクセスを試みた際、
ブロックするとともに管理者へメール通知可能

※「メル丸くん」をご購入いただくことで、警報装置での通知も可能です

見守りフィルターでは児童・生徒が自殺関連サイトへ
アクセスを試みると、「i-FILTER」でブロックすると
同時に指定されたメールアドレスへの通知が実施
されます。また、メール通知を実施するフィルタリング
条件やメール本文の内容を管理者が柔軟に設定
できます。検索・POST単語レベルでの設定を管理者が
自在に設定することが可能です。

見守り
フィルター

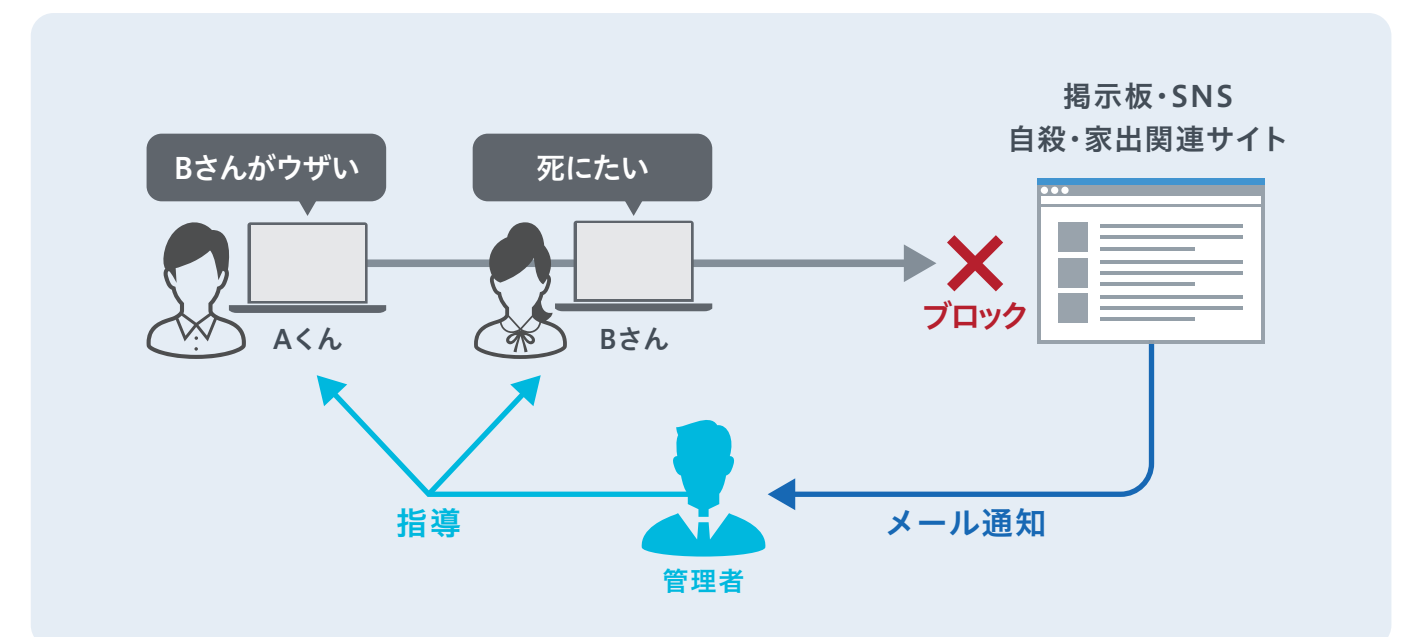
無償
提供



 **i-FILTER®**
子ども見守りシステム

「子ども見守りシステム」は見守りフィルターによるメール通知を
警報装置で警灯するシステムです。悩みを抱える児童・生徒をいち
早く発見することが可能となります。
※別途、「メル丸くん」のご購入が必要です。

■ 実際の運用イメージ



検索 / POSTフィルター

URLに含まれる検索キーワードや、掲示板の書き込み内容に管理者が定義した禁止単語が含まれている場合に閲覧や
書き込みをブロックすることが可能。

■ POSTフィルターの仕組み



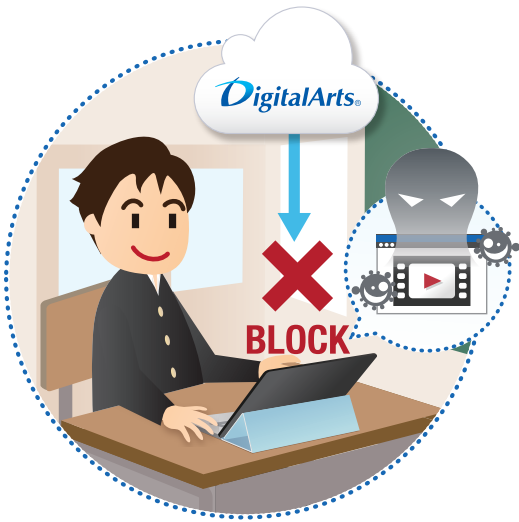
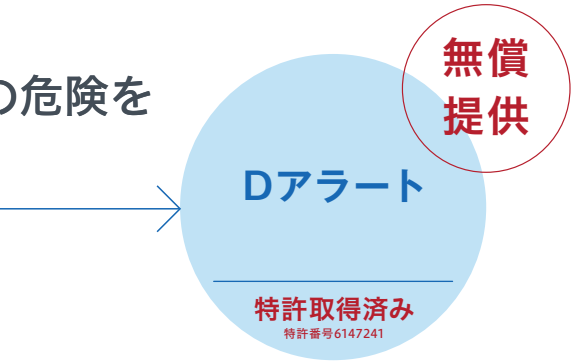
ホームページの改ざんやマルウェア感染などの危険をリアルタイムで把握したい

ホームページの改ざんやマルウェア感染の疑いをいち早くメールでお知らせし危険を認知可能

Dアラート

サイバーリスク情報提供サービス

「Dアラート」は、警察庁提供の情報と弊社で収集したサイト情報をもとに、マルウェア感染やホームページの改ざんの情報をご提供する無償のサービスです。マルウェアに感染させると考えられるメールの受信・URLアクセスを検知すると、お客様へメール通知されます。学校でご利用のホームページの改ざんや端末のマルウェア感染の疑いをいち早く認知することが可能です。



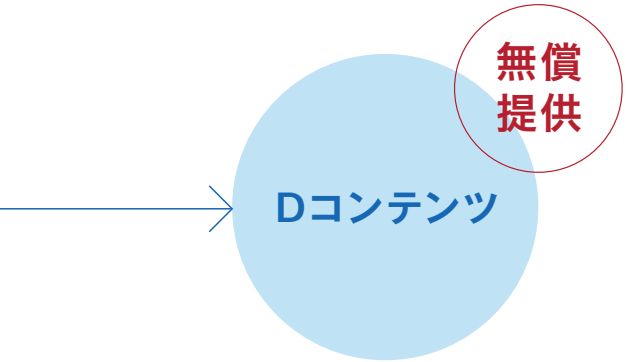
授業や自主学習で活用できる動画コンテンツを知りたい

学習用動画ポータルサイトで必要なサイトをすぐに検索・共有

Dコンテンツ

「Dコンテンツ」は児童・生徒の学びや教職員の授業支援に効果的な学習用動画ポータルサイトです。Web上の学習用動画を集約し、学年・教科はもちろん、学習指導要領やランキング形式での検索も可能です。プレイリスト機能により、授業の復習用にまとめた動画を児童・生徒に共有することもできます。

※一部機能は「i-FILTER@Cloud GIGAスクール版」でのみご利用いただけます



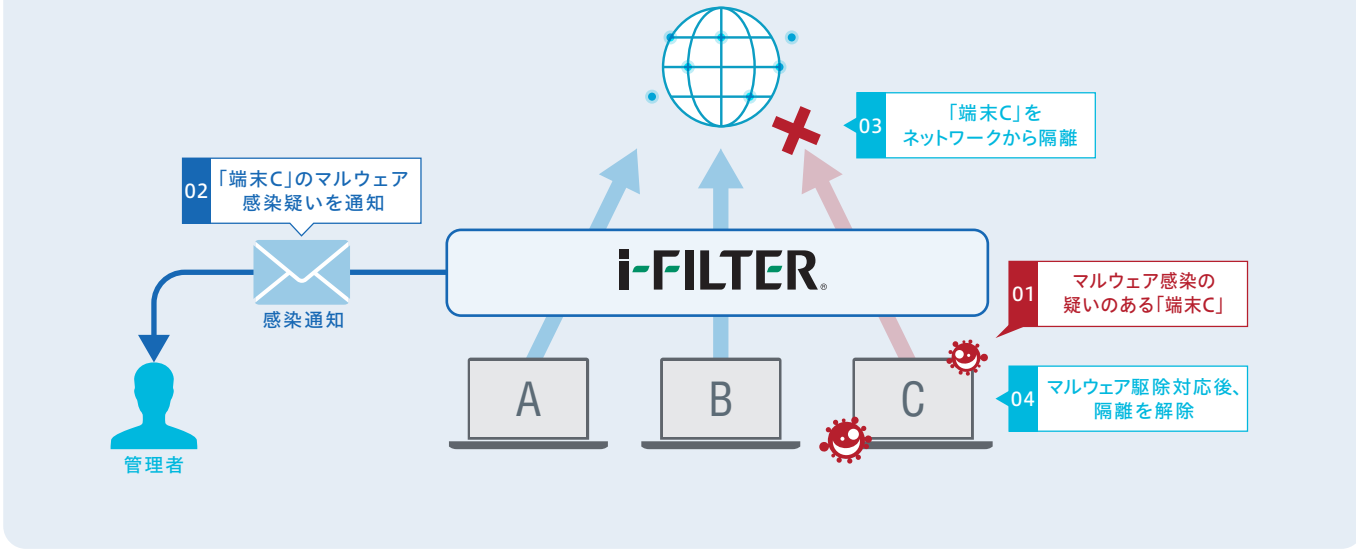
「Dコンテンツ」ユーザーサイト



※画像はイメージです

端末隔離機能

危険なサイトにアクセスした端末を即座にインターネットから隔離します。感染した端末からの情報のアップロードを防止します。



教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和6年1月版)* のポイントとデジタルアーツの対策例

01. クラウドサービス利用における留意点

クラウドサービスの日常的な活用に必要なネットワーク帯域の確保や、クラウドサービス利用における同時接続数などの留意点を整理。また、クラウドサービス事業者において適切にセキュリティ対策を実施していることを確認するための契約内容及び第三者認証などの確認内容を発表。

▶ ISO27017をはじめとする第三者認証を受けております。

02. Webフィルタリング

児童・生徒が端末を利用する際に、不適切なWebページの閲覧を防止するための対策を整理(Webフィルタリングソフト、検索エンジンのセーフサーチ、セーフブラウジング)。

▶ カテゴリごとに詳細に分類し、児童・生徒 が学習に必要なコンテンツだけにアクセス可能です。

03. マルウェア対策

児童・生徒が自分専用の端末を活用する機会が増えることにより、インターネットなど外部からのリスクに直接さらされる機会も増えることから、端末におけるマルウェア対策について整理。

▶ 安全なURLだけにアクセス可能な「ホワイト運用」や感染の疑いがある端末をインターネットから即座に隔離する機能で、万全のマルウェア対策が可能です。

04. モラル教育

ガイドラインの基本理念に「児童生徒の情報セキュリティ・情報モラルに関する意識の醸成を図ること」が追加。インターネット等の安全な利用やコミュニケーションツールにおけるモラル習得など、児童生徒を被害者にも加害者にもしないための指導が必要であることが記載。

▶ 「Info Board」「Test Board」等情報リテラシー向上につながる機能や学習支援の機能が無償で提供中です。

05. セキュリティ設定の一元管理

端末を管理する仕組み(Mobile Device Management)などによる、端末のセキュリティ設定やOSやウェブブラウザを含むソフトウェアのアップデート、学習用ツールのインストール、端末の利用履歴も含めた状態確認といった作業を、離れた場所からでも一元管理することなどの対策を整理。

▶ MDM製品と連携可能です。

06. ID登録・変更・削除

一人1ID化することにより、入学/転入、進級/進学、転出/卒業/退学時などのタイミングにおいて個々のID管理を行うことが必要となるため、これらの管理について整理。こうしたID管理を日常的に運用する上で、必要に応じて事業者へ運用を依頼することも想定して環境整備の段階から運用面を踏まえた準備の必要性について整理。

▶ 管理権限とMDMを組み合わせることで、アカウントID単位でのログ管理が可能です。

07. 多要素認証

特にデータの秘匿性や完全性の確保が相応に認められる場合においては、児童生徒のID/パスワードに加え、多要素認証を設定し、本人確認を厳格に行うことの有効性について整理。

▶ 端末に搭載されている認証などを組み合わせることで多要素認証が可能です。

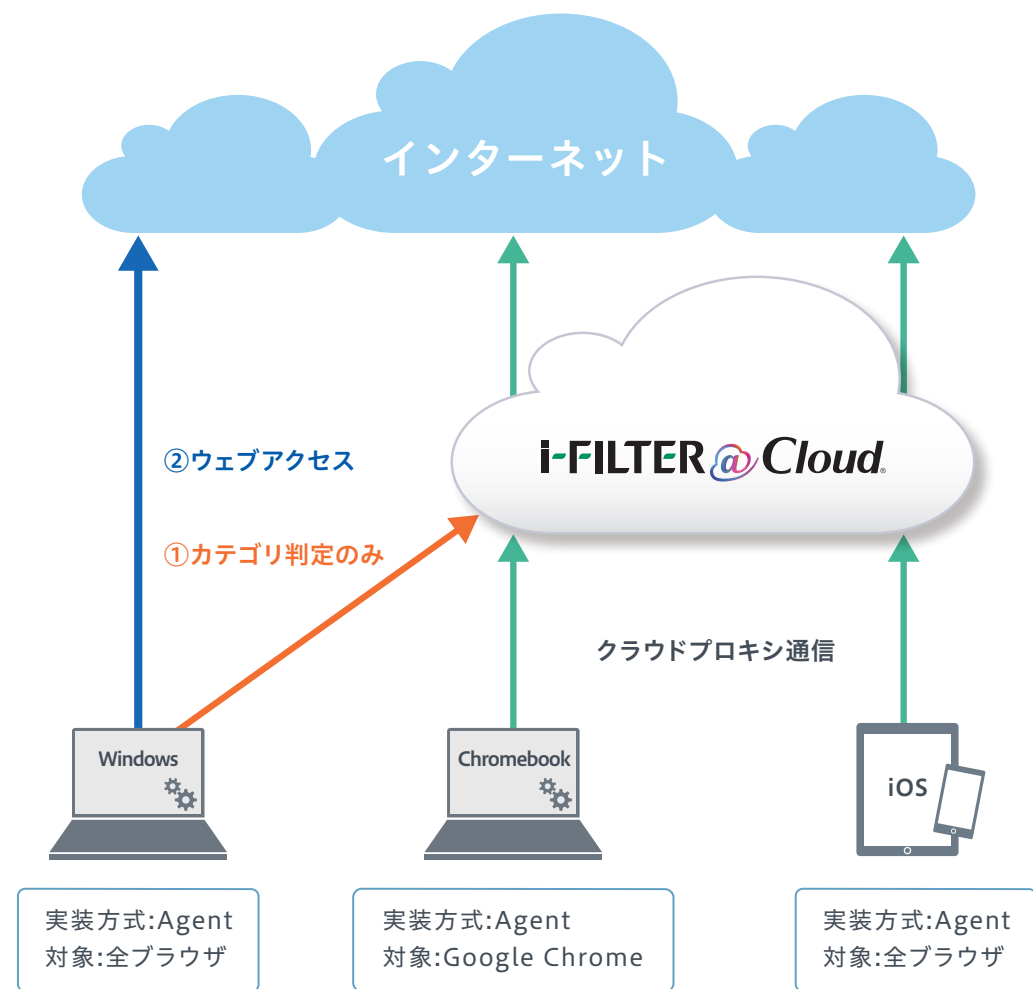
08. シングルサインオン

利用するサービスが増加することにより、サービス利用時に都度ID/パスワードなどの認証情報を入力したり、サービス毎のアカウント情報管理が非常に煩雑になる場合の対処方法の一つとして、一度の認証により一定時間は各種サービスにアクセスが行えるシングルサインオンを用いた認証の効率化について整理。

▶ 事前の設定をしておけば、都度のログインは不要です。

*https://www.mext.go.jp/content/20240202-mxt_jogai01-100003157_1.pdf

ネットワーク構成とOS



持ち帰り端末のWi-Fi設定方法

持ち帰り学習時の利用のための特別な設定は不要です！

利用方法は・・・学校から持ち帰ったPCを各ご家庭でインターネットに接続するだけ！



他社製品とi-FILTERの違い

無償フィルタリングとの比較

		iOSフィルタリング※1	Windowsフィルタリング※2	Chromeフィルタリング※3	i-FILTER@Cloud GIGAスクール版※4
フィルタリング機能	フィルタリング方法	・アダルトコンテンツ【個別設定】 ・特定URLのアクセス制限 ・特定URLにアクセスを許可	アダルトコンテンツ含む28カテゴリ※サブスクリプションに「Microsoft 365 E5」などが含まれている必要あり 【個別設定】 ・特定URLのアクセス制限 ・特定URLにアクセス許可	・アダルトコンテンツ【個別設定】 ・特定URLのアクセス制限 ・特定URLにアクセスを許可	デジタルアーツ社のデータベース(118カテゴリ)
	ホワイト運用(未登録のURLのブロック)	× 設定可能だが、管理者がホワイトリストを別途作成しなければならない	△ 設定可能だが、予期しない結果が発生する可能性がある	× 設定可能だが、管理者がホワイトリストを別途作成しなければならない	○ デジタルアーツで運用
	YouTube制御	△ 視聴できる動画のみを許可 ※1つ1つ登録が必要	○ 教育上不適切な動画を表示させない「YouTubeの制限付きモード」あり	○ 教育上不適切な動画を表示させない「YouTubeの制限付きモード」あり	○ 特定チャンネルのみ閲覧可能に制御可
	POST制御	×	×	×	○ POSTサイズ(POST単語)によるフィルタリングが可能
	ログの確認	×	△ カテゴリ毎のアクセス状況を確認可能	×	○ POSTログを含めて多角的に確認可能
利用時間制御	インターネット利用時間制御	△ ○時～○時の設定1つのみ可能	△ Microsoft Family Safetyの利用で可能	×	○ 禁止時間を1日に複数設定可能
	コンテンツ利用時間制御	×	×	×	○ 休み時間はYouTubeのみ閲覧させるなどの細かい設定が可能
	合計利用時間制御	○	×	×	○

※1 出典 <https://support.apple.com/ja-jp/guide/deployment-education/edu85ae8dd53/1/web/1.0> ※2 出典 <https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/security/defender-endpoint/web-content-filtering?view=o365-worldwide>
※3 出典 <https://support.google.com/chrome/a/answer/7532419?hl=ja> ※4 2021年11月デジタルアーツ調べ(i-FILTER@Cloud GIGAスクール版との比較)

DNSフィルタリングとの比較

様々なフィルタリング製品がある中で、ドメインを使ってフィルタリングする

「DNSフィルタリング」といったものがありますが、「ドメイン」でのフィルタリングでは、そのWebサイトのすべてのページにアクセスを許可するかしないかの極端な制限になります。たとえば授業で学習に関する動画のみを閲覧を許可したい場合には「URLフィルタリング」が最適です。

動画サイトの「学習動画」の閲覧を許可したい場合

